

2023年4月10日  
青森県つがる市  
株式会社グリーンパワーインベストメント  
前田工織株式会社

## つがる市、グリーンパワーインベストメント、前田工織 野焼き対策及び脱炭素化への貢献を目指し協定を締結

青森県つがる市（以下「つがる市」）、株式会社グリーンパワーインベストメント（以下「GPI」）と前田工織株式会社（以下「前田工織」）は、本日、「稲わら粃殻の利活用に関する協定書」を締結いたしました。

本協定は、つがる市において発生した稲わら及び粃殻（以下「粃殻等」という。）の資源の利活用による野焼き対策及び脱炭素化への貢献を目指し、共同して粃殻等の有効活用を検討することを目的としています。

本協定は、2020年に運転を開始した日本最大級の陸上風力発電所「ウィンドファームつがる」の収益を生かした農山漁村活性化事業基金による一次産業支援の一環です。つがる市によると、市内で一年間に回収される粃殻等は約15,000トンと推定され、稲わらの焼却は県全体としては減少傾向にあるものの、全国的にも依然として行われており、煙による健康への影響や交通の妨げ等が懸念されています。

本協定の締結に際し、つがる市長倉光弘昭は「稲作が盛んな当市では、以前から粃殻等を焼却しない有効利用を促進してきたが、運搬方法や収益化など多くの問題があった。今回の取り組みが、生産者の利益につながる活用方法として定着することを期待している。」とコメントしています。また、前田工織社長前田尚宏は、「当社独自の知恵と技術を駆使し、地域の課題を解決することで、地方が元気になり、ともに成長していけるよう貢献してまいります。」と発言しています。GPI社長坂木満は「つがる市の皆様には、ウィンドファームつがるに対する日頃のご理解とご協力に感謝申し上げます。当社は引き続き、風車と同様に自然の風を源とする地域の一次産業振興に資する活動を行います。また、本件に関しても青森県内で建設中のグリーンパワー深浦発電事業にて、粃殻等を活用した土木資材等の活用を予定しています。」と発言しました。

【三者の役割】

つがる市	粃殻等の原材料供給体制の整備 粃殻等を活用した土木資材等の研究開発への協力 粃殻等を活用した土木資材等の市内公共事業での活用検討
前田工織	粃殻等を活用した土木資材等の研究開発と性能評価 粃殻等を活用した土木資材等の生産体制整備
GPI	本取組に関する関係者（三者以外の関係者を含む）との協議や取り組み実施における調整 粃殻等を活用した土木資材等の自社事業での活用検討



写真左から、GPI 社長坂木満、つがる市長倉光弘昭、前田工織社長前田尚宏

■ 本件に関する問い合わせ

株式会社グリーンパワーインベストメント

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ

<https://greenpower.co.jp/>

[gpi\\_info@greenpower.co.jp](mailto:gpi_info@greenpower.co.jp)

<別添資料>

## 稲わら及び籾殻を活用した土木資材（法面緑化資材）について

つがる市において発生した稲わら及び籾殻を、当社がかねてより、開発・製造・販売している生育促進型植生資材「フルボシリーズ」の基盤材の一部として使用し、生育等の有効性を評価。

焼却される籾殻等が減ることで、煙による健康への影響を減らすとともに、資源を有効活用することで循環型社会の発展に貢献し、地域の抱える課題を解決していきます。

【フルボストロー®】



【フルボマルチ®】



【関連製品】生育

資材（環境品）「フルボシリーズ」

<https://www.maedakosen.jp/products/546/>

用途：斜面、法面等の早期緑化、地盤の安定化

促進型植生



【生産拠点】

- ・ 福井県坂井市
- ・ 北海道千歳市（グループ会社の未来のアグリ株式会社にて生産）

前田工織株式会社

●1972年の設立以来、インフラ（社会資本）の整備・維持に携わる会社として、土木資材の製造・販売ならびに各種繊維を原料とした産業資材および不織布の製造・加工・販売を行うことで業容を拡大。

●「ジオシンセティックス」の総合企業として、地域の皆様の安心・安全で豊かな社会づくりや、より災害に強い国土づくりに貢献しています。

●本社：東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビルA館 12F／福井県坂井市春江町沖布目 38-3

●代表者：代表取締役社長 前田 尚宏

【本件に関するお問合せ】

前田工織株式会社 福井広報部 森腰

福井県坂井市春江町沖布目 38-3 TEL：(0776) 51-9577 MAIL：kikaku@mdk.co.jp

以上